

児童発達支援・放課後等デイサービスゆめの木なかのしま H29年度自己評価表集計表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0	0	適切である。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	0	0	適切である。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	3	0	玄関、室内に段差なし。トイレに段差がある。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	0	3	0	カンファレンス毎のやり方を年明けより変更し、日個別支援計画に基づき実施するようになった。療育後は振り返りもしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	0	4	0	今後調査予定。アンケートだけでなく、送迎時等で保護者の様意向を聞いた時は、業務改善に繋げている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	0	公開予定である。
	⑦	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1	0	確保している。H30年度は事業所内研修を充実させる。
	⑧	他の職員の間違いを指摘し、適切な指導ができているか	3	0	1	間違いを見つけた時には、指摘できている指導員が多いが、指摘できない場合の原因を追究して、良い支援に繋げていきたい。
	⑨	係の仕事を責任を持って行えているか	4	0	0	H30年度は更に係を細分化し、業務改善に繋げている。
	⑩	支援計画・各種書類などの提出期限を守っているか	2	2	0	全ての書類に期限が設定されているが、守っていないことがあるため、現在職員に注意・喚起し遵守するようにしている
	⑪	専門職であることを自覚し、自己学習・自己啓発に努めているか	2	2	0	H30年度は研修担当を決め、事業所内で1～3回/月研修会を開催する事に決定した。（自己学習する環境作り）
適切 な支 援の 提供	⑫	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	アセスメントを元に計画を作成しているが、アセスメント能力を向上させるため、研修の機会を増やす必要がある。
	⑬	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0	0	ゆめの木で使用しているアセスメントツールは全児童が使用している
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	0	職員全員で立案している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1	0	レクリエーションスポーツは固定化されないよに工夫しているが、外出などが固定化している傾向がある。
	⑯	平日、休日、長期休暇に応じ、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	0	3	活動の目的などは設定できているが、細やかな課題の設定までには至らない部分がある。

適切な支援の提供	⑰	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1	0	主に個別活動が好きな児童が集団活動に参加できるように具体的な方法を取り入れ、支援計画を作成するようにする
	⑱	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	0	毎朝カンファレンスを行っている。
	⑲	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0	0	共有出来ている。
	⑳	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	0	個人記録の書式を1月末から新しいものに変更し、内容を具体的に記録するように改善している。
	㉑	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	2	2	0	児童の状態によっては、モニタリングの結個別支援計画の変更が必要な場合は都度対応していく。
	㉒	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	3	1	0	ガイドラインに沿って支援しているが、今以上に意識して支援する必要があると思う。
児童発達支援管理責任者や担当	㉓	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	1	0	来年度からは児童発達支援管理責任者が必ず会議に参加し、必要時は担当も一緒に参加するような体制を整えた。
	㉔	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	1	0	情報の共有に心がけているが、年間計画や行事予定の交換は出来ていない。普通級に通う児童については、担任との情報交換があまり出来ていない。
	㉕	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	0	4	情報共有出来ていなかったため改善が必要。今後の課題とする。
	㉖	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	4	0	対象児童がいない。来年度対象児がいるので、情報提供を図るようにする
	㉗	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	3	0	研修は受けているが、助言を受けるまでには至っていない。
	㉘	放課後児童クラブや児童館との交流の機会があるか	1	0	3	交流の場を持てるように他機関との連携を取る。
	㉙	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	1	0	研修などには参加しているが、その他の目的での参加はない。

	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	送迎時に保護者様に児童の様子を伝え、状況や課題について共通理解している。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、研修などに参加し、実践できているか	0	3	1	ペアレントトレーニング等の研修には参加できていないが、日々の研修で得た知識を活用するようにしている。今後参加していく。
保護者への説明責任	③⑫	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1	0	契約時や保護者から質問があった時に行っている。施設長以外の職員も説明できるよう研修を行う。
	③⑬	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1	0	保護者様から相談してもらえようまな関係性を築けるよう努力する。
	③⑭	定期的に保護者会同志が関わりをもてる場を提供しているか。		4		1回/年に保護者同士の交流会を設けているが、保護者の出席率が非常に低い
	③⑮	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1	0	苦情があった場合は体制を整備し、その保護者様に整備内容を報告していたが、全利用者の保護者様までは報告していなかった。
	③⑯	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	0	1回/月に会報を発行し事業所内の情報を保護者に発信している。
	③⑰	個人情報に十分注意しているか	3	1	0	注意しているが今後も配慮を続ける。
	③⑱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	1	0	療育場面、会報、利用時に使用するノート、送迎時、面談等で医師の疎通や情報伝達するようにしている。
	③⑲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	0	事業所に地域住民を招待していないが、プールや外出、年間行事のイベントで、地域住民を触れ合う機会を設けている。
非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	2	0	マニュアルはあるが、全てを周知できていなかったり、保護者様に全てのマニュアルの周知は行っていない。
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	0	1回/月に火事、地震、不審者を設定した避難訓練を行っている。
	④⑫	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	2	2	0	児童発達支援管理責任者が主となって研修などに参加し、指導員に指導するようにする。
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	0	4	0	医師の指示書は提示してもらっていないが、利用者調査表の記載に基づき、アレルギー児の一覧表を作成し職員に周知している。
	④⑭	ヒヤリハットや事故報告書を作成して事業所内で共有しているか	4	0	0	インシデント・アクシデントレポートを導入しており、報告と対策の徹底を図っている。